

VGP2022 SUMMERを席卷！ サウンドマスター・モデルが 「オール金賞」

サイズや価格に応じて展開されるデノンのサウンドバー。
なかでもサウンドマスターの山内慎一氏がチューニングした
3製品がすべてVGP2022 SUMMERで金賞を受賞しました。
審査員のお墨付きのこの3製品なら買って間違いナシ！



サウンドマスターのつくる音が高く評価された



デノン製品の最終的な音を決めるサウンドマスターの山内氏。かつてはHi-Fi製品を担当していたが、近年はサウンドバーまで音質チューニングを担当。VGP2022 SUMMERでは、その山内氏が担当した3つの製品すべてが金賞を受賞しました。

デノン・サウンドマスター
山内慎一氏

VGP 2022 SUMMER 金賞

サウンドバータイプTV用オーディオ
(2万円以上3万円未満)

サウンドバーの新定番が誕生

VGP審査員 折原一也

デノン・サウンドバーのエントリー機「DHT-S217」は、山内氏が初めて本格的にサウンドバーの開発に携わった大ヒットモデル「DHT-S216」の後継モデルです。サウンドバーの域を超え、Hi-Fiオーディオとして通用するほどと称賛された216のサウンド。その定評ある音響設計は引き継ぎつつ、さらに音質をブラッシュアップしています。ソフトウェア面もDolby Atmos&ロスレス音声入力対応を実現し、サラウンド再生を強化しています。サウンドはHi-Fiとして通用する質感重視の表現力に加え、2.1chにも関わらず音空間の広がりを感じさせるサウンドを味わえます。この音で3万円未満の価格は満足感抜群。VGP審査員からは2chの高音質とサラウンド機能を両立する点が高く評価され金賞に輝きました。

サウンドバー

Denon DHT-S217

¥OPEN

2.1ch

HDMI入力×1	HDMI出力×1	別筐体サブウーファー	
eARC/ARC	Pureモード	Bluetooth	無線LAN
Dolby Atmos	アプリ	音楽ストリーミング	



Technology
底面に2基のサブウーファー

217はスリムな1本のバースタイルですが、底面には重低音を再生する75mmのサブウーファーを2基搭載して低域再生を強化。さらに綿密にチューニングされた左右のバスレフポートも使い、音のクリアさと低域の量感とを両立しています。



Installation
低背&スマートボディ

テレビの前に置いてもスマートな佇まいを実現する高さ67mmの低背デザインを採用します。横幅は890mmありますので、デザインを優先するなら42インチ以上のテレビとの組み合わせがおすすめです。写真は55インチのテレビとの組み合わせです。

VGP 2022 SUMMER 金賞

サウンドバータイプTV用オーディオ
(5万円以上7.5万円未満)

高さを加えたリアル志向の音

VGP審査員 折原一也

5万円以上7.5万円未満の部門で金賞を受賞したデノン「DHT-S517」。最大の特長は3.1.2chというリアルな立体音響を実現したスピーカー構成にあります。バースピーカーにはセンタースピーカーと高さ方向を表現するDolby Atmosイネーブルドスピーカーを内蔵。別筐体のワイヤレスサブウーファーを付属するなど、よりサラウンド再生を重視したモデルです。このリアル志向のサラウンドは、映画を観るとよくわかります。音の厚みや臨場感を徹底的に追求した設計のおかげで、天井や壁など部屋全体にまで音の空間が広がります。さらに高さ方向には、まるで面音が広がるようなパワフルで肉厚な表現が味わえます。特別賞「テレビシアター大賞」も受賞するなど、517の実力はVGP審査員全員のお墨付きです。

サウンドバー

Denon DHT-S517

¥OPEN

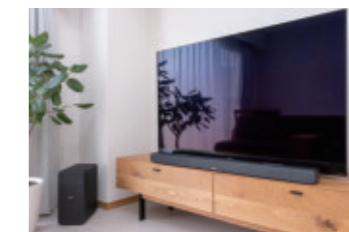
3.1.2ch

HDMI入力×1	HDMI出力×1	別筐体サブウーファー	
eARC/ARC	Pureモード	Bluetooth	無線LAN
Dolby Atmos	アプリ	音楽ストリーミング	



Technology
イネーブルドで高さ方向も

Dolby Atmosの特長である高さ方向も加えた立体音響には、天井からの音が欠かせません。517にはイネーブルドスピーカーを搭載するため、天井反射の音を活かした本格的な立体音響が楽しめます。よりリアルさを求めるなら517がお勧めです。



Installation
サブウーファーはA4サイズ

重低音を担うサブウーファーは別筐体ですが、設置場所を選ばないのが特長です。幅172×奥行き290mmのコンパクト設計ですので、A4用紙程度のスペースがあれば設置できます。もちろん、バースピーカーともワイヤレス接続できます。

VGP 2022 SUMMER 金賞

サウンドバータイプTV用オーディオ
(7.5万円以上10万円未満)

発展性もある小型・旗艦機

VGP審査員 折原一也

「DENON HOME SOUND BAR 550」は、2ウェイ・6スピーカー、3基のバッシブライエーターという本格的なアコースティック設計を、幅650mmの小型筐体に凝縮させたデノンのフラグシップモデル。サイズ以上に空間表現の広さを感じつつも、解像感や音楽性を重視したサウンドが魅力のサウンドバーです。2022年春のアップデートにより、「DENON HOME 150」など、デノンのスマートスピーカーをリアとして活用できたり、別売のサブウーファー「DENON HOME SUB WOOFER」を追加したりすることで、後方まで包まれるリアル4.1ch構成も可能に。単体でも魅力的なモデルですが、そこからデノンが手掛ける本格的なホームシアターへの架け橋となるモデルとして金賞に輝きました。

サウンドバー

Denon DENON HOME SOUND BAR 550

¥OPEN

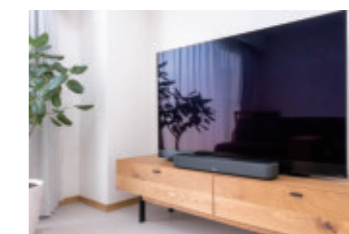
2.0ch(最大リアル4.1ch)

HDMI入力×1	HDMI出力×1	別筐体サブウーファー	
eARC/ARC	Pureモード	Bluetooth	無線LAN
Dolby Atmos	アプリ	音楽ストリーミング	



Technology
低歪の真円ユニットを搭載

Hi-Fiサウンドの実現にこだわり、歪の少ない真円形状のドライバーユニットを採用。さらに内部の空気振動を活かすバッシブライエーターで低域再生も充実させていますが、筐体は強度解析を行い設計。不要な振動が抑制されたクリアな音を実現します。



Installation
横幅650mmのスリムボディ

筐体サイズは55インチのテレビと比較しても非常にコンパクトだとわかります。そのサイズながら、本格的なスピーカー構成に加えて音楽ストリーミングの再生にも対応するなどサウンドだけでなく、機能性も非常に高いです。